

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業2024

北東アジア地域の青少年を対象に、環境問題に関する意見交換や、環境保全活動を通じて相互の友好と理解を促進し、グローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材を育成することを目的に実施した。

1 実施日時

2024年8月8日(木)、8月9日(金) 両日とも13:00～16:00

2 実施方法

オンライン形式 (Zoom)

3 主催等

- ・ 主催：トムスク州（ロシア）、富山県
- ・ 主管：公益財団法人環日本海環境協力センター

4 参加者

北東アジア地域の中高生26名(3か国5自治体)

- ・ 日本：5名(富山県5名)
- ・ 中国：5名(遼寧省5名)
- ・ ロシア：16名(アルタイ地方4名、ハバロフスク地方6名、トムスク州6名)

5 テーマ

地球を大切に：緑の未来のために力をあわせよう

6 内容

※ [配布資料一式はこちら](#)

※ [ダイジェスト動画はこちら](#)

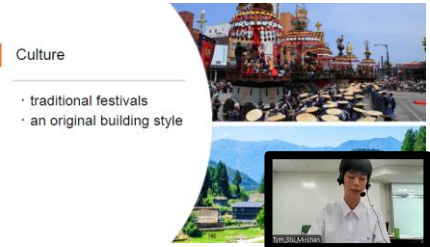
(1) 開会挨拶

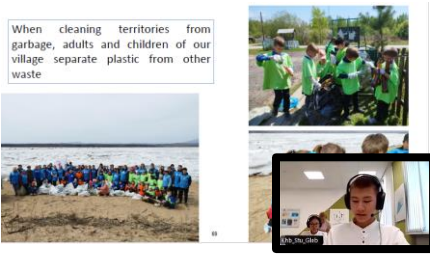
ロシア・トムスク州 国際・地域関係局長 A.A. ストゥカノフ 氏



(2) 文化交流・活動発表

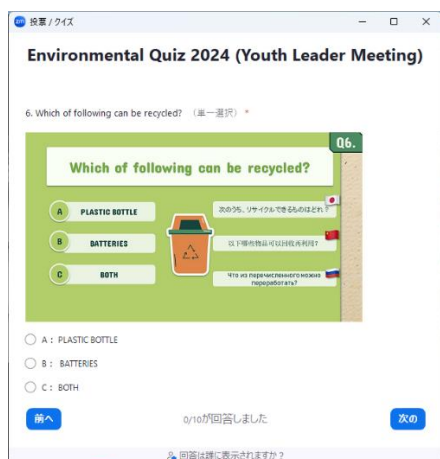
それぞれの地域の文化・風土や各自治体において参加生徒が実施している環境保全活動の内容を発表するとともに、意見交換を行い、相互理解を深めた。

自治体名	文化・風土の紹介の概要	活動発表の概要
遼寧省 (中)	 遼寧省大連市の歴史、地理、景勝地（濱海路・東港）、食文化等の風土、大連第一中学校の紹介	 蛇島老鉄山国家自然保護区のマムシ・渡り鳥を保護するため、地域住民と協力して実施したワークショップ、漂流ゴミ回収等について紹介
富山県 (日)	 ※富山第一高校 富山県の豊かな自然環境（立山・富山湾）、文化（祭・五箇山）、産業（米・魚・薬）等の風土について紹介	 ※伏木高校 地球温暖化対策、海洋汚染対策、リサイクルの推進のために実施している取組み（LED化、海岸清掃、ゴミの分別）について紹介
アルタイ地方 (露)	 ロシア有数の農業、工業、観光地域としての歴史や産業の特徴、各種イベントについて紹介	 アルタイ地方で深刻な問題となっている廃棄物について、削減に向けた取組み（環境教育、廃棄物分別収集等）について紹介

ハバロフスク地方 (露)	 地域の豊かな植生や生物などの自然環境、環境保護活動を行うグループを紹介	 農村部でのペットボトル回収の取り組みやボランティア団体「ひまわり」が実施している啓発活動について紹介
トムスク州 (露)	 自然環境と歴史が融合した街や環境保護活動の中心となっているセベルスキ自然公園などを紹介	 「先駆者の運動」が実施している青少年の自然保護活動（河川の清掃活動、自然保護区でのフィールドワーク等）について紹介

(3) 環境クイズ

環境保全に関するクイズを通して、楽しみながら環境保全について学ぶとともに、参加者同士の交流を図った。



(4) 自由交流

少人数のグループに分かれて、プログラム全体を通じた質疑応答、意見交換、異文化交流などの自由交流を行った。



(5) 体験活動

「ゴミから宝へ (Trash to Treasure)」をテーマとして、自治体ごとにリサイクル・アップサイクル作品※を制作し、制作意図発表・意見交換を行った。

※リサイクル：使用したものを資源として再利用すること

アップサイクル：元のものよりも価値の高いものに生まれ変わらせること

自治体	作品及び制作意図
遼寧省（中）	 『アイスの棒から作った「ピアノ」、「ブランコ」、「鳥の巣箱」』 大連を象徴する作品として、大連の海の波の音を奏でるものとしてピアノを、大連の人々が屋外での活動を楽しむシンボルとしてブランコを、自然や地球への敬意を表現するものとして鳥の巣箱を作成した。アイスの棒のごみを使うことで、ごみをポイ捨てしないことやリサイクルを訴えたい。
富山県（日）	 『家庭に眠っていた古い布から作った「コースター」と「ブックカバー」』 市場で主流となっている合成繊維は、分解されにくく、環境への悪影響が懸念される。そのため、これらをリサイクルすることを考えた。作品は生徒が自宅で利用する。

アルタイ地方
(露)



『様々な飲料用ボトルのキャップから作った「エコロジカルセンターの看板」』

看板には、家のモチーフの中に子どもを描き、「feel at home (我が家のような)」を表現した。屋根にある木は自然環境保護のシンボルである。作品は、施設で展示するほか、いろんなイベント活用して、みんなに写真を撮ってもらう。

ハバロフスク
地方 (露)



『ペットボトルとストローから作った美しい花「サランカ」』

サランカ (学名 *Lilium martagon*、ユリ科) は、私たちの地域に咲いている花であり、地域のシンボルであるとともに、絶滅危惧種にもなっている。生物の未来を表現している。

トムスク州
(露)



『生活の中で出たゴミから作った「チェブラーシカ」』

チェブラーシカは、世代や文化、国の枠を超えて、親切、寛大、友情や他者への敬意を象徴するキャラクター。「ごみ」を有効に使ってアート作品を作ること、創造性と、古いものに2回目の命を与えるという可能性を表現した。

(6) 環境宣言

参加者代表（トムスク州生徒）が「環境宣言文」を発表した。

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業2024 環境宣言文

我々は日本、中国、ロシアの3か国5自治体の代表として2024年北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業に参加しました。

「地球を大切に：緑の未来のために力を合わせよう」をテーマに、環境にやさしい賢い消費生活、環境保全、廃棄物リサイクル等の環境問題について議論し、各地域の環境保全活動について情報交換しました。

《ゴミを宝に (Trash to Treasure) 》をテーマとするアート制作を通じて、資源の効率的・循環的な利用が、天然資源の消費抑制や廃棄物の削減につながることを理解し、リサイクルの重要性を実感しました。

気候変動や環境汚染、天然資源の枯渇などの様々な環境問題が深刻化する中、地球環境の保全が非常に重要であり、若い世代が環境保全に果たす役割が大きいということを認識しています。

環境問題に取り組むためには、国や地域の境界を越えて協力して行動する必要があります。

私たちは、我々の地球を守るために、今後も環境及び社会活動に積極的に参加し、周辺地域及び北東アジア地域に住む人々に環境保全の大切さを発信していくことを約束します。

緑の未来や友好のために力を合わせましょう！

2024年8月9日

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業参加者一同

(7) 閉会挨拶（ビデオメッセージ）

富山県生活環境文化部参事 中島 浩薫

